

かさなる視点

— 日本戯曲の力 —

三作品特別割引通し券

17,400円 (税込) **10% OFF**
(正価19,440円のところ)

前売開始 2016.12/18[日]

三作品特別割引通し券 かさなる視点 — 日本戯曲の力 —

17,400円 (税込) **10% OFF**
(正価19,440円のところ)

前売開始
2016.12/18(日)10:00~

購入特典! 「プラス1チケット10%割引クーポン」を
もれなくプレゼント(1セットにつき1枚)

3作品それぞれご希望のお日にちをお選びいただけます。

- ・各種割引(高齢者・学生・ジュニア・障害者割引)がご利用いただけます。
- ・チケットは作品ごとに異なる席番をご用意します。
- ・3作品のいずれかの公演が完売、または「白蟻の巣」公演が終了した時点で、通し券の販売は終了します。

お申し込み 新国立劇場ボックスオフィスのみ(窓口・電話予約 10:00~18:00)

お引き取り ボックスオフィス、全国のチケットぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルK・サンクス

ボックスオフィス ☎03-5352-9999

Vol.1 白蟻の巣

2017.3/2(木)~19(日) 小劇場

作:三島由紀夫 / 演出:谷賢一
出演:安蘭けい 平田満 村川絵梨 石田佳央 熊坂理恵子 半海一晃

前売開始 | 2016.12/18[日] 料金(税込) | A席6,480円 B席3,240円 / 通し券対象席種 **A席**



3/2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		13:00	13:00	休演	14:00	14:00	14:00		13:00	13:00	休演	14:00	14:00	14:00		13:00	13:00
19:00	19:00							19:00	19:00	18:00				19:00	19:00		



Vol.2 城塞

4/13(木)~30(日) 小劇場

作:安部公房 / 演出:上村聡史
出演:山西惇 椿真由美 松岡依都美 たかお鷹 辻萬長

前売開始 | 2017.1/29[日] 料金(税込) | A席6,480円 B席3,240円 / 通し券対象席種 **A席**



4/13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		13:00	13:00	休演	13:00	13:00	13:00		13:00	13:00	休演	13:00	13:00	13:00		13:00	13:00
19:00	19:00							19:00	18:00					19:00		18:00	



Vol.3 マリアの首 — 幻に長崎を想う曲 —

5/10(水)~28(日) 小劇場

作:田中千禾夫 / 演出:小川絵梨子
出演:鈴木杏 伊勢佳世 峯村リエ
山野史人 谷川昭一郎 齊藤直樹 亀田佳明 チョウヨノン 西岡未央 岡崎さつき

前売開始 | 2017.2/25[土] 料金(税込) | A席6,480円 B席3,240円 / 通し券対象席種 **A席**



5/10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		貸切	13:00	13:00	休演	13:00	13:00	13:00		13:00	13:00	休演	13:00	13:00	13:00		13:00	13:00
18:30	18:30								18:30	18:30				18:30	18:30	18:30		



マンスリー・プロジェクト Monthly Project

新国立劇場でしか聞けない演劇講座にトークセッション、リーディング公演に参加型のワークショップ。
宮田慶子芸術監督の企画による、みなさまの知的好奇心にお応えする「マンスリー・プロジェクト」です。

演劇講座 シリーズ「日本の劇」VII~IX 2月~4月

●講師: ぶじたあさや(劇作家・演出家)

VII「近代戯曲以前」2/17(金) 18:30、18(土) 11:00 | 情報センター |

VIII「戯曲が文学だったとすると」3/17(金) 18:30、18(土) 11:00 | 情報センター |

IX「リアルとリアリズムの間で」4/14(金) 18:30、15(土) 11:00 | 情報センター |

●お申し込み: 12/1(木)~上記3講座同時募集開始

トークセッション「かさなる視点—日本戯曲の力—」 5/13(土) 18:00 | 小劇場 |

●出演: 谷賢一(『白蟻の巣』演出)・上村聡史(『城塞』演出)・小川絵梨子(『マリアの首』演出)、
宮田慶子

●お申し込み: 2/9(木)~

▶入場無料・要申込み、先着順。定員に達し次第締め切ります。劇場ウェブサイトよりお申し込みください。
お問い合わせ: 情報センター TEL.03-5351-3011(代)



それぞれの公演チケットのお求めは—

新国立劇場 Webボックスオフィス
http://pia.jp/nntt/



ボックスオフィス ☎03-5352-9999 [10~18時/年末年始・
休館日を除き年中無休]

託児サービスの詳細については、新国立劇場ウェブサイトをご覧ください。

割引等のご案内

- お申し込みの際、割引ご利用の旨をお知らせください。
- お引き取りの際にそれぞれ証明書が必要です。
- 詳しい購入方法は劇場ウェブサイトをご覧ください。
- 高齢者割引(65歳以上)・学生割引 [5%割引]
- ジュニア割引(中学生以下)・障害者割引 [20%割引]等
- 車椅子をご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。

備考

- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- お子様につきましても1人1枚チケットをお求めください。
- 公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。
- 壁際、手すり近く、バルコニーの一部の座席で舞台が見えにくい場合がございます。
- 公演日によってはお求められない場合がございます。
- やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- 学校団体の観劇が今後確定する場合がございますので、予めご了承ください。

グループでのお申し込み

10名以上でご観劇の場合は 新国立劇場営業部
TEL.03-5352-5746(平日10~18時)までお問い合わせください。

新宿から京王新線で1駅 初台駅直結

Vol.3

マリアの首

田中千禾夫戯曲の頂点。「魂の叫び」が心に突き刺さる。

田中千禾夫×小川絵梨子

5/10[水]~28[日]

Vol.2

城塞

戦争責任とは—。安部公房の骨太な戯曲に挑む。

安部公房×上村聡史

4/13[木]~30[日]

Vol.1

白蟻の巣

劇作家三島由紀夫を確立させた初の長編戯曲。

三島由紀夫×谷賢一

3/2[木]~19[日]

新国立劇場 THE PIT

2016/2017シーズン・特別支援企業グループ

ONWARD Kao TBS TORAY TOYOTA ぴあ

新国立劇場ボックスオフィス
03-5352-9999
http://www.nntt.jac.go.jp/play/

絶にして妙、二〇一七春は この「かななり」に注目!

昭和三十一年。

「もはや戦後ではない」と言えたのか。

三十代の旬の演出家三人が、時代を検証し、

昭和三十年代に書かれた三本の秀作をイマの眼で読み解く、

シリーズ《かさなる視点―日本戯曲の力―》



演劇芸術監督
宮田慶子

昭和三十年代、急激な時代の流れの中で、故意に、また無自覚に歴史の中に埋められ、歪められていくものたちへの劇作家たちの鋭い視点が、作品の中に色濃く息づいています。

シリーズ「かさなる視点―日本戯曲の力―」は、そうした時代と劇作家に着目し、上演順に三島由紀夫、安部公房、田中千禾夫という三人の戯曲を取り上げ、三十代の気鋭の演出家三人の視点によって、新たに構築してこういう企画です。重量級ともいえる三作品を、それぞれ独自の視点で描く舞台にどうぞご期待ください。

Vol.1 三島由紀夫 谷賢一

ブラジル、リンス郊外で珈琲農園を営む元華族の農園主は、かつて心中未遂事件を起こした妻と使用人を彼特有の「寛大さ」でそのまま同居させていた。事件を承知で結婚した使用人の妻は徐々に嫉妬にかられるようになり、ある計画をもって農園主をサンパウロに送り出す。二組の夫婦の思いが絡み合い、やがて奇妙で複雑な三角関係に変化していく……。

三島が初の世界一周旅行で訪れたリンスで見た白蟻の巣が創作のヒントになり、昭和三十年九月号の文芸雑誌「文藝」に掲載、同年十月、劇団青年座により菅原卓演出で初演。第二回岸田演劇賞を受賞した。

演出の谷賢一は語る。「劇作家として

の三島由紀夫のデビュー作であると同時に、三島が終生、まさに市ヶ谷駐屯地で腹かつさばく直前まで考え続けた問題をダイレクトに扱っている。――敗戦から十年、これから日本人はどういさるべきか?……敗戦から七十年経つ二〇一六年の今でさえ、我々日本人はどうあるべきか、新しい答えを見出せていない。『白蟻の巣』を読むと、三島由紀夫に叱られている気持ちになる。彼の魂がこもった本だ。全力で立ち向かい、その問い掛けに一矢報いてやりたい。」

熱い覚悟をもって三島に挑みかかる谷の視점에期待したい。

白蟻の巣

Vol.3 田中千禾夫 小川絵梨子

昭和三十三年、今や煉瓦の壁だけとなった長崎・浦上天主堂の保存について長崎市議会が紛糾していた頃。頬に負ったケロイドを包帯で隠し、昼間は看護婦、夜は娼婦として生きる鹿。ポン引きまがいの薬売りをして、原爆症の夫を支える忍。献身的な看護婦である静。そして彼女たちを取り巻く男たち……。登場人物たちは誰もが皆、心にも体にも癒されない傷を抱えていた。そんななか、天主堂の前に崩れ落ちたマリア像の残骸が少しずつ盗まれていく。

昭和三十四年三月、新人会にて作者自らの演出で初演され、第六回岸田演劇賞を受賞した『マリアの首』。長崎市生まれの田中千禾夫が、被爆者にあらざる者

が被爆を語り得るかという自問自答の末、「その人たちの存在を知りたいという願望を消すことが出来ない」ところから書かれた戯曲だ。「幻の中でしかその人達に会うことは出来なかった」と田中は遺している。

これまで多くの現代翻訳劇を手掛けてきた演出の小川絵梨子は、「身近で手触りの分かりやすいものでは決してない、自分にとって大きな挑戦となる作品。目を背けたくなるような生々しさと同時に、深く静かな祈りのような幻想が存在する。その壮大な世界観に、覚悟を持って飛び込みたい」と、コメント。

戦争と原罪を真っ向から描く作品に、小川がどう取り組むのか、目が離せない。

―幻に長崎を想う曲― マリアの首

Vol.2 安部公房 上村聡史

とある家の広間。爆音が響く。電燈が尾を引いて消える。どうやら戦時下のようである。「和彦」と呼ばれる男とその父が言い争っていた。父は「和彦」ともに内地に脱出しようとするのだが、「和彦」は母と妹を見捨てるのか、と父を詰る。しかし、それは「和彦」と呼ばれる男が、父に対して仕掛けた、ある「ごっこ」だった……。

一九九八年刊、「安部公房全集16」に六二年九月一日の日付で、『本質は喜劇なのです――「城塞」と題した、公房本人の文章が掲載されている。この戯曲の背景には何があったのだろうか。その中に「ブルジョア家庭の内部に、深入りしてしまっていたのである。(中略)そして

て、ナンセンス・コメディは、いつのまにやら、深刻きわまる重量級ドラマに変わってしまった」とある。

不可思議に集まった五人の登場人物からなる共同体が紡ぐ『城塞』を、演出の上村聡史は「彼らの抱える特権階級意識、戦争観、愛国精神に対する言及は、どこか危機意識や未来への憧憬を喪失した現在の無自覚な私たちと繋がっているようにもある」と看破する。さらに「戦後から現代に繋がる日本人の精神を時にグロテスクに、かつ愚かに、そして何よりも『今』に対する鋭い批評眼を持つて描くことが私の重要な役割」とコメント。安部公房と上村の「かさなる視点」に目をこらしたい。

城塞



◎谷賢一
(たに・けんいち)

一九八二年生まれ、PULI-COLORED POP主宰。明治大学演劇学専攻、ならびにイギリス・University of Kent at Canterbury, Theatre and Drama Study, 文化演劇学を学んだ後、劇団を旗揚げ。二〇一三年には「最後の精神分析」の翻訳、演出で第六回小田島雄志、翻訳戯曲賞、ならびに文化庁芸術祭優秀賞を受賞。近年では海外演出家とのコラボレーション作品も多く、デヴィッド・ルヴォー、シナイ・ラルビシエルカワイ、フィリップ・ドゥックフレらの作品に、翻訳・脚本・演出補などで参加している。



◎上村聡史
(かみむら・さとし)

一九七九年生まれ、二〇〇一年文学座附属演劇研究所入所。〇六年座員に昇格。〇九年より文化庁新進芸術家海外留学制度により一年間イギリス・ドイツに留学。一四年に新国立劇場で上演された「アルトナの幽閉者」をはじめ他の演出作品で第十七回千田是也賞を受賞。また演出を手がけた「炎アンサンブレイ」が第六十九回文化庁芸術祭大賞、第十二回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。



◎小川絵梨子
(おがわ・えりこ)

一九七八年生まれ。二〇〇四年、ニューヨークのアクターズスタジオ大学院演出部卒業。〇六〜〇七年、平成十七年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。一〇一年、今とは「ヘンリー・モス」翻訳・演出で第三回小田島雄志、翻訳戯曲賞を受賞。二一年「二人一奇跡の物語」『夜の来訪者』『ライオ』の演出で第十九回読売演劇大賞優秀演出家賞、村春子賞を受賞。一四年「ピロマン」『帰郷』『The Homecoming』。『新国立劇場』DUS『作品』の演出で第四十八回紀伊國屋演劇賞個人賞、第十六回千田是也賞、第十二回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。一六年九月より新国立劇場演劇芸術参与。